

第4期（平成30年度）

総会議案書

日時 平成31年1月26日（土）
午後7時30分

場所 竹町公民館

農事組合法人 竹町農業生産組合

第4期 総会議案書

次第

1. 開会の辞
2. 代表理事挨拶
3. 総会成立宣言
4. 議長選出
5. 議事録署名人指名
6. 書記指名
7. 議事
 - 議・第1号 第4期事業年度事業報告（案）について
 - 議・第2号 第4期事業年度（平成30年度）決算・剰余金処分（案）について
 - 議・第3号 第5期事業年度（平成31年度）事業計画（案）について
 - 議・第4号 第5期事業年度（平成31年度）予算（案）について
 - 議・第5号 前組合長特別功労者顕彰についての報告
 - 議・第6号 理事退任者への慰労金支給についての報告
 - 議・第7号 第5期事業年度（平成31年度）役員報酬額についての報告
 - 議・第8号 組合脱退者についての報告
8. その他
9. 閉会の辞

議・第1号 第4期事業年度（平成30年度）事業報告について

平成18年に設立した特定農業団体を平成27年7月1日に解散し、農事組合法人竹町農業生産組合を設立し、産みの苦しみの3年間で終わり、やっと安定期に入れるかと思っただとたんに現職の組合長急逝という不測の事態に見舞われました。

ご逝去当初、水稻の田植えは役員会段階で受け持つなど、バタバタしながら何とか乗り切ることができました。次年度以降の耕作分担についても、組合員のみなさまのご協力のおかげで分担することができました。ありがとうございました。

7月22日に臨時総会を開催して新役員体制を発足することが出来ました。法人登記も完了できました。

しかしながら、全てを前組合長に任せてしまっていた結果、何が分かっていないかも分かっておらず、全員で協力して穴埋めする以外にありません。一集落一農場という大原則の目標に向かって、皆さんの積極的な協力をお願いします。また、今後もどんな形で想定外の事態が起きるか分かりません。耕作者が増えることは考えにくく、緊急事態が起きても耕作者全員が素早く集まり、竹町農業を支えられるように備えておく必要があります。

前組合長が残されたものとして、別紙資料の「人・農地プラン」と「農業経営改善計画」があります。これらは行政との契約書です。目標年度に書かれているように、少なくとも32年度までは竹町農業が進むべき道が決まっています。当然ながら、毎年の経過報告が義務づけられています。

別紙資料にあるように29年度と30年度で中間管理機構に232,530㎡を貸し付けることが出来、法人が借りる形となり、班形式での栽培となっています。

前組合長の圃場も30年度には中間管理機構に貸し付けることが前提となっており、亡くなる前に手続きを済ませておられました。

この中間管理機構への貸付は、経営転換した本人には「経営転換協力金」が個人口座へ振り込まれ、農地を借りる方へは地域集積協力金が交付されます。

この地域集積協力金については、本来、農地を借り受けた者に対して交付されますが、竹町の場合、交付対象外の人にも農地所有面積に応じて2,573,800円が6月に分配されました。中間管理機構を媒介とすることに協力いただいた交付金を全員が享受したことになります。

前組合長が残されたデジタルデータは、コピーとして公民館事務所の守る会パソコンに保管してもらいました。今後は自治会のパソコンに移すか、農業関係のパソコンを新たに購入するかなどの検討が必要です。この場合、わざわざ公民館まで足を運ばなくても自宅でも作業できるように、クラウドの利用等も検討材料にしておく方が利便性の面からは良いと思われます。

本年度の決算につきましては、各作物とも組合員の皆様に頑張ってください、お陰さまで黒字になりました。この利益配分については、昨年度には経営基盤強化準備金として220万円を積み立てましたが、本来は必要なものを見定めて積み立てるべきで、積み立て方にも基準を設ける必要もあります。会計報告で積立基準も提案します。

設備面では、格納庫が満杯になり、新たな入れ物が必要になってきました。今後、竹町農業の受け皿としての法人の体制を整えて行くためには、先の「人・農地プラン」「農業経営改善計画」に基づいた設備導入も必要です。そのための倉庫などをどのように確保するのか、借り上げも含めて検討する必要があります。

また、格納庫整備とキャビンコンバインの借金を返済し、地権者に賦課している2,000円/10aの賦課金の見直しも行い、改良組合、農用地利用改善組合、法人の会計の整理も必要です。

第4期（平成30年度）決算概要について（総務部）

1. 作物別の作柄と収支の概要

7月初めに前組合長が急逝され、実務が混乱する中精神的支柱をも失い、それと同時に保有されていた圃場の再配分等、困難な課題が続きましたが、皆さんの絶大な支援のお陰で何とかこの1年を乗り切る事が出来ました。その結果、小麦、水稻につきましては、従来並みの反収を上げる事が出来ました。

大豆、ソバにつきましては何日も雨が降らない過酷な気象条件の中での播種と初期育成となり、発芽が不揃いで圃場毎の差が大きく出たように思います。また開花期には強力な台風に見舞われ本体が倒伏、その後一旦持ち直したかに見えましたが収量に大きな影響が出る結果となりました。

前年度との比較

単位：千円

年 度	平成30年度			平成29年度		
	小麦	水稻	ソバ	小麦	水稻	ソバ
経営面積	114.30 反	89.75 反	67.51 反	107.57 反	41.4 反	13.78 反
収穫量	30,816kg	45,712kg	1,732kg	28,972kg	20,770kg	450kg
収穫量/10a	269.6kg	509kg (8.5 俵)	25.7kg	269.3kg	502kg (8.4 俵)	32.7kg
※参考：市内基準反収	274kg		49kg	274kg		49kg
売上	779	8,008	299	416	3,643	75
製造原価・管理費	6,252	6,362	430	6,038	2,833	189
営業利益	-5,473	1,646	-141	-5,622	810	-114
補助金	8,415	200	1,090	8,118	347	178
経常利益	2,941	1,845	949	2,496	1,157	64
経常利益/反	25.7	20.6	14.1	23.2	27.9	4.6

《小麦》

- 1) 10a当たりの収穫量は前年同等で、平成28年度と比較2年続けての反収増となる。
近江八幡市の基準反収274kgとも、ほぼ同等で周辺地域と比べると成績良好とのこと。
- 2) 作付面積増に伴い、営業利益の赤字増が懸念されていたが、思い切ってやった土改剤廃止のコスト削減で、営業利益は良化、経常利益も18%良化という結果になる。

《水稻》

- 1) 好天に恵まれ日照量多く、大きな台風被害も出なかった。
- 2) 結果としては、反当たり収量も昨年同等以上の良好な結果となる。但し、米の直接支払い交付金(7,500円)が廃止された分、反当たり経常利益は減益となった。

《ソバ》

- 1) 殺人的酷暑の時期に播種、耕作者3名で4日間(167a/日)かかった
- 2) 乾燥を好む作物とは言え、乾燥しすぎでは発芽しにくい事が分かり、圃場によって大きな差が出た。一度目の播種で発芽しにくかった田んぼは再播種したが、土が乾きすぎて発芽し

なかった。

- 3) 更に収穫前の台風と長雨で茎が倒れて消えたりした結果、反収は昨年を下回る結果となる。
- 4) 営業利益としては面積拡大分昨年以上回る赤字となる。但し、畑作物の直接支払い交付金（面積払い）のお陰で、経常利益としては約89万円となる。

《大豆》

- 1) ソバと同じく天候の影響を大きく受け、降水量不足による発芽率低下、台風による倒伏の結果、期待した収量は得られなかった。（周辺地区でも、軒並み反収減）
- 2) 非公式情報ではあるが、今年の収量は以下の通り

	平成30年度	平成29年度
経営面積	40.19反	15.87反
収穫量	2,837kg	538kg
収穫量/10a	70.6kg	33.9kg
※参考：市内基準反収	162kg	162kg

- 3) 公式な取引情報は未発行のため、収益計算は来期となる。今期は、平成29年度の大豆について精算を行う。

2. 大型農機購入と収支計算

昨年3月に大型トラクターと付属部品、6月に溝掘機、ブロードキャスター他を購入しております。前年度総会でも、これらの購入資金について見通しが報告されていますが、購入実績と会計処理について説明します。

大型農機取得価格と購入資金

		大型トラクター	溝掘機他
取得価格		8,553,600	1,096,200
購入資金	経営体育成支援事業補助金	2,376,000	0
	中間管理機構集積協力金	2,573,800	0
	農協融資（7年償還）	2,500,000	0
	経営基盤強化準備金	1,103,800	1,096,200
	購入資金合計	8,553,600	1,096,200

- 1) 今回購入の大型農機については一括で損益計算書に計上しますと、赤字決算となりますので、当然のことですが減価償却費（生産経費）として処理します。償却期間は7年です。消費税を除いて単純に7年で割ると、128万円/年を計上することになります。しかしながら、補助金と経営基盤強化準備金については圧縮記帳が可能ですので、減価償却資産は以下のようになります。

取得価額（消費税抜き）	8,935,000円
経営体育成支援事業補助金	-2,376,000円
経営基盤強化準備金	-2,200,000円
本年度の補助金の一部	-2,600,000円

減価償却資産価額 1,759,000円

これを、7年で割ると減価償却費は251,286円/年（今年度は10ヶ月分209,614円）

となります。

これ以外の大型農機に関わる経費としては、農協への支払い利息 1,705 円を計上。

2) 農協への返済金は、毎年 358,572 円で、これを 7 年間返し続けることになる。

3) 貸借対照表には、農協融資は負債、農機は資産として計上される。

3. 大型農機使用の収支面への効果

生産組合が利用する大型農機としてはトラクターとその周辺機器、及びコンバインですが、これの活用によって以下の金額が利益となっています。

大型農機活用による利益への貢献額（経費抑制額）

農機の種類		コンバイン A	コンバイン B	大型トラクター	個人農機
所有者		リース会社	農用地利用 改善組合	生産組合	組合員
①作業料金表 による支払額	麦	285,750	285,750	使用せず	687,800
	水稻	324,155	使用せず	53,955	1,544,415
	ソバ	使用せず	使用せず	132,919	使用せず
	①合計	609,905	285,750	186,874	2,232,215
②実際の支払い額 (所有者への支払額)	麦	477,110	285,750	使用せず	687,800
	水稻	0	使用せず	0	1,544,415
	ソバ	使用せず	使用せず	0	使用せず
	②合計	477,110	285,750	0	2,232,215
利益貢献額(経費抑制額)=①-②		132,795	0	186,874	0

組合の大型農機は麦の刈り取りと、それ以外は楽々グループが中心に使う結果となりました。個人の農機を借用した場合は、農機使用料を組合員に支払いますが、組合の農機を使った場合は、農機使用料は払いません。従って、楽々グループには個人から借用した機械以外には農機使用料は払っていません。ところが、「楽々グループは農機使用料を払わないで組合の機械を使っている」というような誤解を生んだようで、実際はそうではなく、逆に組合の農機を使ったことで法人の利益に貢献したということになります。その貢献額は、前表の利益貢献額の合計で 319,669 円になります。また、個人の農地での組合農機使用料 79,430 円を徴収しておりますので利益貢献額は合わせて、399,099 円になります。これは経営基盤強化準備金や従事分量配当の中に含まれます。

組合農機の活用度が上がれば上がるほど、利益につながりますので、個人の農機が限界に来たときは出来るだけ早く組合の農機に転用頂きたいと思えます。また、組合としては、組合農機を出来るだけ多くの皆さんに効率良く使って頂くための体制作りを図って参ります。

4. 経営基盤強化準備金、剰余金処分案について

昨年度は、経営基盤強化準備金に 220 万円を積み上げ、大型農機購入資金として充当しました。この 220 万円は第 2 期総会で承認された作業料金表を適用した結果積み上がった金額なのですが、小麦の作業料金が大きく削られた結果となっています。

そのため本年からは、経営基盤強化準備金については必要額を予め設定し、最終残った剰

余金を作物の経常利益に応じて従事分量配当として配分することにしました。

やり方としては、現行の作業料金表に従い算出した労賃に調整率（増倍率）を掛けて、労賃を再計算することとしています。

その際の計算条件として、以下を設定しています。

- 1) 大豆、ソバについてはそれぞれの経常利益に初年度90%、2年目80%、3年目以降は70%を掛けて従事分量配当とする。
- 2) 水稻、キャベツについては補助金がないので税金見合いの10%を差し引いてそれぞれの経常利益に90%を掛け従事分量配当とする。
- 3) 小麦の従事分量配当は、これらの残り全額を充当するものとする。
- 4) 作業料金表で算出した基準の作物別基準労賃と上記の1) 2) 3) で算出した作物別従事分量配当の比を算出し、この比を調整率（増倍率）とする。
- 5) 別表で算出した、個人別、作物別の基準労賃にこの調整率を掛け、支給金額とする。

作物別従事分量配当の決め方（本年度の場合）

経営基盤強化準備金：150万円、 従事分量配当総額：435万円

	小麦	水稻	ソバ
経常利益	2,810,546円	2,721,657円	700,431円
掛率（労働分配率）	（残り全額）	90%	80%
従事分量配当	1,124,590円	2,449,492円	560,345円
基準労賃	797,650円	1,633,570円	297,044円
調整率	1.410	1.499	1.886

※大豆、キャベツは今年度売上なしのため、適用除外

議・第2号 第4期事業年度（平成30年度）決算・剰余金処分（案）についてはこのようにして、剰余金処分を行いますのでご理解願います。

尚、経営基盤強化準備金の積立額、掛率（労働分配率）につきましては、年度毎の収益状況を勘案しながら、見直しが必要な場合は役員会で適正化を図って参ります。

議・第2号 第4期事業年度（平成30年度）決算・剰余金処分（案）について

貸借対照表

商号 農事組合法人 竹町農業生産組合

平成30年12月31日現在

代表者 北川 誠次

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産	(25,472,904)	I 流動負債	(7,570,865)
現金及び預金	21,425,515	買掛金	3,103,550
たな卸資産	2,356,001	未払い金	4,252,915
抛出現積立金	558,648	未払法人税等	214,400
未収入金	1,132,740		
II 固定資産	(1,649,386)	II 固定負債	(4,523,928)
有形固定資産	(1,549,386)	出資預かり金	880,000
機械及び装置	1,549,386	長期借入金	2,143,928
		農業経営基盤強化準備金	1,500,000
無形固定資産	(0)		
		負債の部合計	12,094,793
		(純資産の部)	
		I 株主資本	(15,027,497)
投資その他の資産	(100,000)	1. 出資金	9,744,000
出資金	100,000	2. 資本剰余金	(0)
		3. 利益剰余金	(5,283,497)
		利益準備金	310,000
		繰越利益剰余金	4,973,497
III 繰延資産	(0)		
		純資産の部合計	15,027,497
資産の部合計	27,122,290	負債・純資産の部合計	27,122,290

損益計算書

平成30年 1月 1日から

平成30年12月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 売 農 産 物 売 高 上	9,444,716	9,444,716
II 売 期 上 原 価 卸 高 当 期 首 期 農 業 卸 原 価 計 合 期 末 上 総 損 失	0 13,409,079 13,409,079 0	13,409,079
		3,964,363
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 損 失	416,769	416,769
		4,381,132
IV 営 業 外 収 益 受 取 取 配 収 入	1,004 1,000 16,009,966	16,011,970
V 営 業 外 費 用 支 払 利 息	1,705	1,705
VI 経 常 利 益 特 別 利 益 農 業 基 盤 強 化 準 備 金 戻 入	2,200,000	11,629,133 2,200,000
VII 特 別 損 失 固 定 資 産 圧 縮 損 金 経 営 基 盤 強 化 準 備 金	7,176,000 1,500,000	8,676,000
税 引 前 当 期 純 利 益		5,153,133
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	214,756	214,756
当 期 純 利 益		4,938,377
前 期 繰 越 利 益 剰 余 金	35,120	
繰 越 利 益 剰 余 金 期 末 残 高		4,973,497

剰 余 金 処 分 案

(単位：円)

I 当期末処分利益		4,973,497	
II 任意積立金取崩額			0
計			4,973,497
III 利益処分額			
利益準備金	600,000		
従事分量配当金	4,350,000		
			4,950,000
IV 次期繰越利益			23,467

以上の通り提出する。

平成31年 1月 26日

商号 農事組合法人 竹町農業生産組合

代表理事

北川 誠次



理 事

船橋 雄平



理 事

荒川 敏和



理 事

川橋 幸己



理 事

川合 良和



監査の結果、貸借対照表、損益計算書および損失処理について、何れも適法かつ正確であることを認める。

平成31年 1月19日

監 事

荒川 雅男



監 事

小西 信弘



議・第3号 第5期事業年度（平成31年度）事業計画（案）について

事業報告でも述べましたが、前年7月1日に強力なリーダーであった前組合長が亡くなられ、協議で合意しながら進むしかありません。

今の竹町農業は補助金無しでは考えられません。その補助金を受けられるのは法人という名の認定農業者と個人の認定農業者だけです。中には、補助金を目的にやっているのは邪道だという意見もありますが、補助金を当てにしなければなり立たないのが現状です。

また、麦の収益は特団と同じように配分すべきといった意見もあります。今後、農業への従事者が減少するであろう中で、少ない人数でも成り立つようにする受け皿が必要です。そのためには、当然投資が必要で、全額配分が出来なくなるのは仕方が無いことです。

一集落一農場を目指して発足した法人である限り、将来を見据えた経営をするのは当然のことです。将来のことなど関係ないというのは無責任です。一人の脱退者が出たのは残念ですが、まだ一集落一農場の望みが消滅したと考えず、将来に希望をつなぎましょう。

会計上の問題としては、もちろん黒字化を一層推進する事業を探さなくてはなりません。が、「人・農地プラン」と「農業経営改善計画」に基づいた必要な機材の選定とそのために必要な資金をどう確保するのかが問題となります。

現状では格納庫が満杯で、まず入れ物をどう確保するのか、現在の竹町と今後の竹町の農業において農機具は何が必要なのか、考えて決めなくてはなりません。これまでは、前組合長の強力なリーダーシップのおかげでここまで進みました。今後も「農業経営改善計画」や「人・農地プラン」を基礎として進める訳ですので、そこから外れないかを監視していただきながら、緊急事態にも対応できるように、代表理事と理事会に推進のための権限を与えていただきたいと思います。

前組合長は、農機具についても充実するように手続きを進めていただいていたいました。

新たに、トラクター、ドライブハロー、畦塗り機、播種機、ブロードキャスターを導入していただきました。おかげで格納庫は満杯となり、新たな入れ物を手に入れる必要があります。

今後、耕作者が増えることは考えづらく、少ない人数で効率よく作業を進めるには、大型機械を導入し、生産性を向上させることも考えながら、小さい圃場に対応出来るコンバインや、田植機も必要になってきています。自分が農業が出来なくなれば後は野となれ山となれではなく、次の代を育てる努力をしながら、次の代がやりやすい環境を整えるのも現在関わっている者の責任でしょう。

前組合長は、市農業関係の中枢に足を運ばれ、情報を竹町に持って帰って下さいました。最近の補助金等は、以前のように行政や農協から案内してくれるのではなく、自分たちで探して獲得するものへと変わっています。

情報をいち早く入手されていた前組合長でさえ、締め切りの早さに手をこまねいておられることもありました。

そういった情報源が無くなった今、農協へ務めておられる3名の存在は重要であり、行政とのつながりを確かなものにするため、4月の議会選挙にはぜひとも力添えをお願いし、たく考えます。

同時に、素早い判断が出来るよう、理事長と理事会に大幅な決定権を認めていただきたく希望します。

また、近くでは水路の補修が土地改良名で実施されるようですが、竹町としても声をあげたり未舗装の農道の舗装などにも目を向けて取り組む必要があります。代表で出ていた

だいている方をみんなで支えましょう。

決算にもあるように、各作物は赤字にならなくて済みました。

しかし、いくつかの問題が指摘されたり、解決しておかなければならないことがあります。

「法人は小麦をやるだけのはずだった。特団では、利益を全部配分されていました。

今も「みんなに配分すべき」との意見が出されており、少しでも多くの配分をと考えてはいますが、組合が法人となった以上、法律で定められた支出や今後の竹町農業の受け皿になるための積立や投資が必要です。ご理解をよろしく願いいたします。今後の竹町を考えた投資に必要なものを積み立てたり残したりしながら従事分量配当に従って最大限組合員に配分すべきです。もし、そういったことが必要無いなら、新たな別の道を選択するしかありません。

前年度活動報告でも触れましたが、格納庫とキャビンコンバインの借金をなくしますので、農用地利用改善組合が賦課させていただいている2,000円/10aの賦課金を半減して1,000円/10aにしたいと思います。

中には、耕作者の会計を援助するために借地料の10,000万円を半額にして、賦課金をゼロにしてはどうかという意見も根強くあります。確かにそうすれば、法人の役員報酬も組合の中から出すことができ、すっきりした形がとれます。たとえば借地料を半額にすると、借地料5,000円、水利費4,800円、計9,800円/10aとなります。たくさん預かっている耕作者にとっては本当にありがたいことです。

規約によると、改良組合の役員は法人も含めて6人の経営者で、改良組合長手当をどうするのか、農用地利用改善組合役員に対する手当はどうするのかなど問題になりますが、今は農用地利用改善組合も改良組合も同じメンバーが役員を兼務しており、法人からの報酬だけで良いと思われま。

この借地料半額は1年間かけて議論し、地権者さんの賛同が得られるなら第6期（2020年度）から実施することを提案します。もし、今総会で賛同が得られれば第5期（2019年度）から実施することも可能です。議論願えればありがたく思います。

現在、格納庫とキャビンコンバインで土地改良から1,313,750円（キャビンコンバイン100,000円、格納庫1,213,750円）の借金がありましたが、環境エネルギーセンター誘致にともなう補償金が西部土地改良区へ支払われた後、あと少し残っていたため、その資金を使って返済しました。

借金を返済することによってコンバインを法人の所有とし、管理を法人で受け持ちたいと考えます。農用地利用改善組合の所有にすることも考えられますが、故障や更新の資金も必要で、実際に使用する法人が所有することが妥当と考えます。格納庫は元々米の検査場で、主旨からいうと改良組合（規約による会員は6名）が管理者になりますが、今後、修理等が必要になったとき、だれが費用を負担するのか問題になると考えられます。

今の竹町に必要と考えられる設備は、倉庫と大型乗用管理機です。倉庫は、満杯になった格納庫を空かせるためや肥料等の資材置き場に必要ですし、大型乗用管理機は大豆や野菜、蕎麦の防除消毒に必要です。積立は「農業経営改善計画」に基づいたものです。

設備の充実と使い方について、充実面では、農業経営改善計画に基づいて進めることが前提ですが、今のトラクターやコンバインは機械が大きくて農業用大型特殊免許を持たないと運転出来ず、誤解から一部の者が気ままに使っていると不満が出ています。この不満を解決するため、管理部で利用方法のルールを定めていただきます。

前組合長が高性能の機械や立派な倉庫を残されました。組合として、それらを何とか有効活用させてもらえないか、田植え機、トラクター及び付属部品の購入を前向きに検討してまいります。

小麦は35%をメドに竹町全体1,979.5a、水稻法人作付け1,232.1a（竹町全体3,622.4a）、白大豆・黒大豆714.3a、蕎麦364.4a、カット野菜19.7a、夏野菜13.0となります。生産組合を脱退しても、改良組合や農用地利用改善組合からの脱退をしないかぎり竹町の面積に含まれ、転作対象となります。

前年度は不順な天候でしたが、何とか補助金のおかげで黒字にはなっています。前年度は、大豆や蕎麦で草が目立ちました。今年度は少しでも少なくなる方法をともに考えたいと思います。

また、カット野菜の収穫が始まりますが、収穫作業への女性の参加を呼びかけ、1000円/時を支払います。会計担当には源泉徴収などの負担が増えますが、今後の農業を支える上で、女性の力をお借りしたいと思います。自治会にも守る会にも女性の参加が増えてきました。生産組合としても参加を呼びかけます。

別紙資料のように、小麦(274kg)、大豆(162kg)、そば(49kg)というように各市町村で基準反収が定められており、基準の半分に満たない場合は、その理由書が必要です。

逆に、水稻も含めて、どれだけ沢山収穫しても労賃だけだと頑張る気力も失せるという意見もあります。そこで、水稻の場合は、個袋出荷で品種毎に反収9俵を超えた場合、

その売上は耕作者のものとする様な検討を進めて参ります。また、平成30年度からは、全ての作物において、経常利益の一定率を耕作者の従事分量配当として、利益が出れば出るほど耕作者の実入りが増える取組を既に実施しています。支給明細書に調整率という表現で標準労賃からの増倍率を記載させて頂きます。

【総務部】

平成31年度 重点取り組み	<ol style="list-style-type: none"> 1. 麦後作物の方向付け 2. 設備投資計画の策定 3. 中長期計画の立案 4. 除草作業軽減化への取り組み
------------------	---

1. 麦後作物の方向付け

麦後作物は労力と採算性を見極めるために実験的にスタートしました。今年で3年目に入ろうとしていますが、そろそろ労力と採算性について評価を下す時期が来ているように思います。大豆もソバも近江八幡地区の基準収量から比べると、半分程度で数量払いの補助金ももらえないレベルです。しかしながら、これを逆に考えるとまだまだ伸びしろのある作物、収益力のある作物となる可能性もあります。

元々は実験的にスタートして、労力少なく収益の上がる作物に絞り込もうとしていた筈でした。今まで通り、二手に分かれて、別々の作物をやるのが良いのか、一本化するのか、はたまた全面撤退するのか、結論を出す時期に来ていると思います。一方、キャベツについては非常に良好な作柄ですが、現時点ではどの程度の収益が望めるのか見えていません。但し、これも3月後半には結果が出ると思います。3月後半にはすべての作物の結果が出揃いますので、これを基に、方向付けの議論をしたいと思います。

2. 設備投資計画の策定

毎年経営基盤強化準備金の積立を行おうとしていますが、何年度にどんな設備や機器を導入するのか具体的な計画はありません。法人が認定農業者として支援を受けるためには農業経営改善計画認定書に記載された改善計画を順次実施して行く必要がありますので、ここに記載された設備や機器類を中心に優先順位を付けながら、設備投資計画を具体的なものにする必要があります。

計画に当たっては、今後の栽培作物や作業を効率化する上での必要性並びに投資の採算性を見極めながら、優先順位を決定する必要があります。管理部、営農部、転作部と協同で検討を進めて参ります。

3. 中長期計画の立案

次年度の計画は何とか立てながら、活動は出来ておりますが、結果の管理（決算報告）が主体となった事業活動になっております。来年は乗り切れるだろうが5年後、10年後はどうなるのか分からないというのが今の姿ではないでしょうか。5年後、10年後の姿が描けないまま事業活動を続けるところに、色々な無理が出て来ているように思います。5年後、10年後の姿が描けないということは、この法人がどこを目指し

ているのか、どうあるべきなのかがハッキリせず、組合員の中でもそれぞれの思いに違いがあるのではないのでしょうか。

補助金を活用して農機の共有化を進め、もっと事業拡大を図るのか、現状維持に努めるのか、法人を補助金の受皿団体としての機能のみに絞るのか、特団のように麦だけの協同化組織にするのか、色々な思いが交錯しているように思います。

この辺りについて議論を進め、組合員全員が同じ方向に向いて、事業活動に取り組みるように検討を進めたいと思います。

4. 除草作業軽減化（カバープランツ）への取り組み

「しぜんを守る会」でも取組テーマとして取り上げていますが、耕作者の皆さんの負荷を少しでも減らせないと実験を進めています。昨年度は、限定された区域ですが効果は確認できました。今年度は、更に区域を拡大しようとしています。実施区域を提供する等、生産組合としてもテーマに取り上げ、共に推進したいと思います。

【営農部】

第5期（2019年度）水稻の作業委託と収支計画（案）

1. 水稻の作業委託と耕作地について

31年度は、新たに前組合長、1名の組合員の農地を、中間管理機構から借り受け、水稻の作付けを行います。

2. 作業計画

31年度の中間管理機構からの借り受け面積は、1927.2aでこの内水稻作付面積は、1232.1aです。作付け品種は、特別栽培米（従来の環境こだわり米）として、みずかかみ・コシヒカリ・秋の詩の3品種、一般米として、コシヒカリ・レーク65・キヌヒカリ・秋の詩・ヒノヒカリの5品種、計8品目を予定しています。いずれも、組合の各班に作業委託をして栽培します。借り受け面積の内695.1aは、現在小麦（転作）の作付けをしています。

水稻	特別栽培米	548.7a	1232.1a
	一般米	683.4a	
転作（小麦）			695.1a
計			1927.2a



5期 2019 (平成31) 年度水稻栽培計画 (案)

		単 価	数 量	金 額	摘 要	
収 入	こだわり米売上	¥6,500	876	¥5,694,000	8俵×54.87反×2	
	一般米売上	¥6,000	1,094	¥6,564,000	8俵×68.34反×2	
	合 計			¥12,258,000		
支 出	特別栽培米	ふりかけ堆肥エコ	¥1,809	9	¥16,281	農協注文書による
		とれ太郎 本	¥1,677	134	¥224,718	農協注文書による
		硬化苗 箱	¥800	1,097	¥877,600	54.78反×20箱
		専用肥料 本	¥3,365	74	¥249,010	農協注文書による
		ハ7344 本	¥3,335	34	¥113,390	農協注文書による
		ハ7306 本	¥3,340	23	¥76,820	農協注文書による
		農薬費 個	¥3,298	3	¥9,894	箱施肥用 1kg
		農薬費 個	¥9,350	8	¥74,800	箱施肥用 3kg
		防除剤 本	¥2,350	6	¥14,100	スタークルDL溶剤
		紙袋 袋	¥81	632	¥51,192	39.52×8俵×2
		施設利用料 /kg	16	7,368	117,888	15.35×8俵×60kg
	小 計			¥1,825,693		
	一 般 米	とれ太郎 本	¥1,677	15	¥25,155	農協注文書による
		硬化苗 箱	¥800	1,370	¥1,096,000	68.43反×20箱
		肥料 本			¥691,657	農協注文書による
		農薬費 個			¥460,588	農協注文書による
		紙袋 袋	¥81	1,039	¥84,159	64.93×8俵×2
		施設利用料 /kg	¥21	22,368	¥469,728	46.6×8俵×60
		小 計			¥2,827,287	
		水利料 10反	¥4,800	123.21	¥591,408	
作業料金		¥39,500	123.21	¥4,866,795		
共済掛金				¥61,605		
燃料費		1L=¥99	2,000	¥198,000	免税軽油	
諸経費				¥50,000		
小計				¥5,767,808		
合 計			¥10,420,788			
差引合計			¥1,837,212			

【転作部】

1. 小麦栽培

30年産小麦の生産量は圃場にかかなりのバラツキがあったものの、反当り300Kg（乾燥前）でした。今年度もこの数値以上の収穫を目指し、今後一層の管理をお願いします。

31年度産は、1141aの作付けです。播種時期には天候が良く計画通りの播種が出来ました。反省点としては、播種機が導入されたが十分に生かせなかった事があり、次年度は播種機の使用を主体にした作業計画を組んでいく見直しが必要になってきました。

小麦栽培計画表（114.1反）

収入

項 目	内 訳	数量	単価	合計
小麦価格	反270Kg(4.5俵)	513	860	441,180
畑作物所得補償数量払い	1等Aランク4.5俵	513	6,890	3,534,570
水田活用所得金額	反35000円	114.1	35,000	3,993,500
畑作物所得補償数量払い	面積払い反20000円	114.1	20,000	2,282,000
合計				10,251,250

支出

項 目	内 訳	数量	単価	合計
種子	農林61号*1237Kg	1237	400	548,000
種子消毒	ベンレート100g	14	620	8,680
種子消毒	ベンレート500g	10	2,924	29,240
除草剤	ハーモニー粒剤2kg	202	1,406	284,012
除草剤	クリアターン細粒剤F3Kg	55	1,964	108,020
元肥	一般高度化成444	230	1,340	308,200
追肥・穂肥	NK化成20号	180	1,400	252,000
実肥	硫安*102袋	102	1,081	110,262
病虫害防除	トップジンM粉剤	108	805	86,940
カントリー使用料	270K*114.1a	30807	27	831,789
農業共済				100,000
農業機械使用料				880,000
土地借用料		114.1	10,000	1,141,000
用水費		114.1	4,800	547,680
コンバインリース料				247,460
燃料代（免税軽油）				70,000
修繕費				150,000
麦出役者傷害保険				40,000
レンタル料				50,000
雑費				40,000
作業料金		114.1	14,500	1,654,450
合計				7,487,733

2. 大豆栽培

30年度は蕎麦同様暑さと雨により生育が伸びず、また雑草対策も十分でなかったことから収穫は伸びませんでした。31年産は雑草対策を行い、収穫量を増やしていくこととします。

大豆計画表 (75 反)

	項 目	内 訳	数量	単価	合計
収入	大豆売り上げ代金	反 2.5 俵、187.5 俵	187.5	6,000	1,125,000
	畑作物直接支払い交付金	面積払 (反 2 万円)	75	20,000	1,500,000
	畑作物直接支払い交付金	数量払い (1 俵 5000 円)	187.5	5,000	937,500
	合計				3,562,500
支出	大豆種子 (ことゆたか)	反 6K	450	880	396,000
	土力じまん	反 5 袋	375	1,003	376,125
	豆蔵	反 1.5 袋	113	3,327	375,951
	キヒゲンR-2フロアブル	種子 1K に 20ml 要	45	1,416	63,720
	クリアターン細粒剤	反 5K 計 488K 41 袋	32	7,435	237,920
	コンバイン使用料	反 5500 円	75	5,500	412,500
	カントリー利用料	1K30.5 円	11250	31	343,125
	農業共済		1	20,000	20,000
	燃料代		1	20,000	20,000
	作業料金	平耕、播種、防除、土改材他	75	7,000	525,000
	合計				3,070,341

3. 蕎麦栽培

30年度産は、収穫前の台風と雨により被害を被り収穫は前年度も大幅に下回った。自然の前には無力ということを思い知らされます。しかし継続し反 40K 越えを目指します。

蕎麦栽培計画表 (36.44 反)

	項 目	内 訳	数量	単価	合計
収入	そば売却代金	反 40K 収穫	1458	167	243,486
	畑作物直接支払い交付金	面積払 (反 1.3 万円)	36.44	13,000	473,720
	合計				717,206
支出	そば種	反 8K	292	180	52,560
	元肥	こだわり元肥 (反 20K)	36.44	2,905	105,858
	害虫薬剤	ゼンターリ顆粒水和 (反 1 袋)	36.44	1,254	45,696
	刈り取り料	反 5000 円	36.44	5,000	182,200
	乾燥・調整費	k g 30 円	1458	30	43,740
	出荷用袋		21	83	1,743
	作業料金	平耕、播種、覆土、防除他	36.44	4,000	145,760
	合計				577,557

4. 野菜の栽培(キャベツ)

30年度初めての取り組みであり、まだ収穫作業まで進んでいませんが一連の作業を終えた時点で今後の取り組みの検討をしますが、大豆・蕎麦以外の場所で計画しました。

	項 目	内 訳	数量	単価	合計
収入	販売料金	反 4000 k g	10640	55	585,200
	合計				585,200
支出	種子		2.66	12,000	31,920
	元肥		2.66	15,000	39,900
	害虫薬剤		2.66	20,000	53,200
	手数料	J Aへ支払い	2.66	6,000	15,960
	作業料金	平耕、播種、防除、収穫他	2.66	100,000	266,000
	合計				417,620

【管理部】

◆ 設備管理状況

- * キャビン付きコンバイン
バッテリーの劣化により 年度初に新規に交換
刈り刃 隙間 & 切り落としローラ 等 ⇒ 正常範囲
- * キャビンなしコンバイン
刈り刃 隙間 & 切り落としローラ 等 ⇒ 正常範囲

* H30 新規

45Ps コンバイン	+ 付属着装機器
_____	新規 標準ロータリー
_____	新規 ウイング ハロー
_____	新規 ディスクロータリー
_____	新規 溝掘り機
_____	新規 畦塗機
_____	新規 播種機
_____	新規 ブロードキャスト

◆ 農機具倉庫の問題

H30 現 上記保有設備等にて 満杯状態

- トラクター装着時に各機移動等の発生
- メンテナンス スペースが 無い

《 対応策 》

- * 各団体等の不要物の整理・撤去
 - * 備品等の縦置き
 - * 使用率に応じた 定置化
- _____ の実施

◆ 倉庫内のメンテ具

- * 機器整備用のエア源の確保
- * メンテ用具 全く無し ← 必要に応じた工具を徐々に拡充

◆ 機器の運転記録の実施

今後の 営農・転作部の方向による各位の機器使用の拡大に伴う

使用記録 及び 消耗部位の確認用として実施
新規トラクターについては 現実施一済
+ コンバイン2台も同様な形式にて記録帳を作成

議・第4号 第5期事業年度（平成31年度）予算（案）について

第5期（平成31年度）予算計画の栽培作物としましては、昨年同様の小麦、水稲、大豆、ソバ、キャベツの5品目となります。栽培面積は、小麦は前年とほぼ変わらず、水稲は33.4反増、ソバは31反減、大豆33反増となり、キャベツも0.74反増となります。

前年度との比較

単位：千円

年 度	平成31年度				平成30年度			
	総合	小麦	水稲	ソバ	総合	小麦	水稲	ソバ
経営面積	393反	114.05反	123.2反	36.44反	335反	114.30反	89.75反	67.51反
収穫量	—	30,749kg	65,305kg	935kg	—	30,816kg	47,570kg	1,732kg
売上	12,613	778	11,400	156	9,444	779	8,008	299
製造原価・管理費	16,054	5,707	8894	359	13,825	6,252	6,362	430
営業利益	-3,953	-4,929	2,505	-203	-4,381	-5,473	1,646	-141
補助金	11,202	8,256	191	588	10,629	8,415	200	1,090
経常利益	7,247	3,325	2,694	386	6,679	2,941	1,845	949
経常利益／反	18／反	29.2	21.9	10.6	20／反	25.7	20.6	14.1
経営基盤強化準備金	1,500	—	—	—	1,500	—	—	—
従事分量配当	4,900	—	—	—	4,350	—	—	—
大豆経営面積	73.4反				40.19反			
キャベツ経営面積	1.97反				1.23反			

上の表は、予算計画表の作物別主要指標を取り出したものですが、大豆、キャベツにつきましては、まだ平成30年度の売上もありませんので、下の欄に栽培面積だけを示しております。

全栽培面積は昨年に比べ約60反増え、その結果売上は昨年比320万円増の約1,260万円となる見込みです。これに対し製造原価と管理費は1600万円、営業利益は約400万円の赤字となります。ここに補助金が1120万円ほど入る見込みで最終の経常利益は約725万円と前年度より60万円程度の増加にとどまる見込みです。

その結果、経営基盤強化準備金は前年度と同等の積立をした上、従事分量配当は前年度より50万円ほど増加の見込みです。詳細については次ページを参照ください。

平成31年度 竹町農業生産組合 損益計画書 (消費税抜き)

	平成31年度計画									平成30年度実績
	総合	共通	小麦	水稲	大豆30年産	黒豆30年産	大豆31年産	黒豆31年産	ソバ	総合
経営面積	392.66反		114.05反	123.21反	40.19反	5.37反	73.40反	0.00反	36.44反	335.45反
収穫量			30,749kg	65,305kg	538kg		5,181kg		935kg	
小麦	778,222円	0円	778,222円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	773,732円
水稲	11,399,630円	0円	0円	11,399,630円	0円	0円	0円	0円	0円	8,303,843円
大豆29年産	195,227円	0円	0円	0円	195,227円	0円	0円	0円	0円	37,022円
大豆30年産	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
黒豆29年産	83,616円	0円	0円	0円	0円	83,616円	0円	0円	0円	41,369円
黒豆30年産	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
ソバ	155,859円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	155,859円	0円	289,750円
雑収入(コンパイン買資料)	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
A 売上合計	12,612,554円	0円	778,222円	11,399,630円	195,227円	83,616円	0円	155,859円	0円	9,444,716円
①種苗費	2,592,936円	0円	507,407円	1,827,407円	200,000円	18,000円	0円	40,123円	0円	1,451,265円
②肥料費	2,417,002円	0円	620,798円	1,293,547円	352,250円	47,065円	0円	103,341円	0円	1,896,510円
③農業費	1,149,764円	0円	478,604円	517,946円	123,131円	16,452円	0円	13,532円	0円	1,313,617円
④諸材料費	128,896円	0円	0円	125,325円	0円	477円	0円	3,194円	0円	142,320円
ア 材料費計(①~④)	6,288,700円	0円	1,606,809円	3,764,226円	675,381円	81,994円	0円	160,290円	0円	4,803,712円
⑤確定給与雇員賃金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
⑥臨時雇用賃金(農作業標準賃表による)	63,200円	0円	63,200円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
イ 労務費計(⑤~⑥)	63,200円	0円	63,200円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
⑦動力光熱費	141,722円	0円	68,000円	73,722円	0円	0円	0円	0円	0円	157,241円
⑧小農具備品費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
⑨修繕費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	76,010円
⑩賃借料(農機具使用料:支払額+1.08)	3,073,532円	0円	899,464円	1,983,142円	186,065円	24,861円	0円	0円	0円	2,404,921円
⑪共済掛金(作物別)	198,273円	0円	97,000円	61,605円	0円	0円	39,668円	0円	0円	135,476円
共済掛金(共通)	75,000円	75,000円	27,485円	37,769円	2,756円	273円	4,432円	0円	2,285円	114,589円
⑫土地・水利用費(4800円/反)	1,138,846円	0円	547,440円	591,408円	0円	0円	0円	0円	0円	979,440円
⑬減価償却費	251,286円	251,286円	92,089円	126,544円	9,236円	913円	14,849円	0円	7,655円	209,614円
⑭支払地代(10,000円/反)	2,372,600円	0円	1,140,500円	1,232,100円	0円	0円	0円	0円	0円	2,051,930円
⑮J A施設利用費(カントリー利用料)	1,461,646円	0円	770,175円	544,089円	143,989円	3,994円	0円	0円	0円	1,366,801円
⑯レンタル料	405,463円	0円	31,667円	0円	0円	0円	373,796円	0円	0円	318,163円
⑰リース料	409,045円	409,045円	172,291円	236,754円	0円	0円	0円	0円	0円	454,390円
⑱業務委託費(ソバ刈取代)	175,016円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	175,016円	0円	328,059円
⑲生産経費計(⑰~⑱)	9,702,431円	0円	3,846,119円	4,867,133円	342,045円	29,441円	432,745円	0円	184,956円	8,594,634円
B 製造原価合計(A~ウ)	16,054,330円	0円	5,516,120円	8,631,359円	1,017,426円	111,434円	432,745円	0円	345,246円	13,398,346円
C 売上総利益(A-B):売上総損失	-3,441,777円	0円	-4,737,898円	2,768,271円	-822,199円	-27,819円	-432,745円	0円	-189,387円	-3,953,630円
①販売費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
②通信費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
③研修関係費(税理士指導料312千円含む)	288,889円	288,889円	105,869円	145,480円	10,618円	1,050円	17,071円	0円	8,801円	312,000円
④租税公課	150,000円	150,000円	54,970円	75,538円	5,513円	545円	8,864円	0円	4,570円	36,190円
⑤雑費(作物別)	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	8,333円
雑費(共通)	83,333円	83,333円	30,539円	41,965円	3,063円	303円	4,924円	0円	2,539円	55,577円
D 販売一般管理費計(①~⑤)	511,394円	522,222円	191,379円	262,983円	16,131円	1,595円	25,935円	0円	13,370円	412,100円
E 費用合計(B+D)	16,565,724円	0円	5,707,499円	8,894,343円	1,033,557円	113,030円	458,680円	0円	358,616円	13,810,446円
F 営業利益(A-E):営業損失	-3,953,170円	0円	-4,929,277円	2,505,287円	-838,330円	-29,414円	-458,680円	0円	-202,757円	-4,365,730円
①畑作物の直接支払交付金(数量払)30,816kg、1等A6,690円/kg	1,050,033円	0円	1,050,033円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	1,149,984円
②畑作物の直接支払い交付金(面積払い)2万円/10a	4,221,676円	0円	2,281,000円	0円	0円	0円	1,468,000円	0円	472,676円	3,888,000円
③水田活用の直接支払い交付金3.5万円/10a	3,991,760円	0円	3,991,750円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	4,000,500円
④米の直接支払い交付金(7500円/10a)	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
⑤圃地加算交付金(5000円/10a)	537,850円	0円	537,850円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	548,546円
⑥種子更新補助金(市)(972円/10a)	130,615円	0円	94,444円	0円	36,171円	0円	0円	0円	0円	119,847円
⑦二毛作助成金(県)(大豆14,160円/10a、ソバ13,110円/10a)	659,607円	0円	0円	0円	562,660円	0円	0円	96,947円	0円	434,467円
⑧二毛作助成金(市)(大豆、ソバとも2,549円/10a)	119,324円	0円	0円	0円	100,475円	0円	18,849円	0円	0円	80,803円
⑨環境こだわり農産物(4000円/10a)	87,000円	0円	0円	87,000円	0円	0円	0円	0円	0円	112,800円
⑩水田フル・加工用米(600円/10a)	926円	0円	0円	926円	0円	0円	0円	0円	0円	1,056円
⑪収入減少影響緩和交付金	300,000円	0円	300,000円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	172,898円
⑫集積協力金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	2,573,800円
⑬融資主体型補助事業交付金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	2,378,000円
a 雑収入1(補助金)	11,098,784円	0円	8,255,077円	87,926円	699,306円	0円	1,468,000円	0円	588,474円	15,563,212円
⑭利息	852円	0円	477円	375円	0円	0円	0円	0円	0円	1,004円
⑮出資配当金	796円	0円	446円	350円	0円	0円	0円	0円	0円	1,000円
⑯農機賃料(H29年度は従前小作料)	101,852円	0円	0円	101,852円	0円	0円	0円	0円	0円	108,065円
⑰従事分量配当金にかかる消費税	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	322,287円
b 雑収入2(利息+地代)	103,500円	0円	923円	102,577円	0円	0円	0円	0円	0円	433,356円
G 営業外収益計(a+b)	11,202,284円	0円	8,256,000円	190,503円	699,306円	0円	1,468,000円	0円	588,474円	15,996,568円
c 支払利息	1,705円	1,705円	820円	885円	0円	0円	0円	0円	0円	1,705円
d 雑損失	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
H 営業外費用計(c+d)	1,705円	1,705円	820円	885円	0円	0円	0円	0円	0円	1,705円
I 経常利益(F+G-H):営業外損益加算	7,247,408円	0円	3,325,904円	2,694,905円	-139,024円	-29,414円	1,009,320円	0円	385,717円	11,629,133円
①特別利益	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	2,200,000円
②特別損失(経営基盤強化準備金)	1,500,000円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	1,500,000円
③特別損失(融資主体型補助事業交付金)	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	7,176,000円
J 税引前当期利益(経常利益+特別損益)	5,747,408円	0円	3,325,904円	2,694,905円	-139,024円	-29,414円	1,009,320円	0円	385,717円	5,153,133円
法人税、住民税及び事業税	222,800円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	80,056円
K 当期純利益	5,524,608円	0円	3,325,904円	2,694,905円	-139,024円	-29,414円	1,009,320円	0円	385,717円	5,063,077円
前期繰越利益剰余金	35,120円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	35,120円
L 当期未処分利益剰余金	5,559,728円	0円	3,325,904円	2,694,905円	-139,024円	-29,414円	1,009,320円	0円	385,717円	5,098,197円
M 利益準備金(10%)	550,000円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	600,000円
①従事分量配当(役員報酬含む)	4,900,000円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	4,350,000円
P 次期繰越利益	109,728円	0円	3,325,904円	2,694,905円	-139,024円	-29,414円	1,009,320円	0円	385,717円	148,197円

議・第5号 前組合長特別功労者顕彰についての報告

1. 前組合長故川橋俊雄氏の長年にわたる功績に対して報奨金5万円を贈り、特別功労者として顕彰する。

議・第6号 理事退任者への慰労金支給についての報告

1. 組合の理事を3年1期務め、退任された方に1万円の慰労金を支給する。
2. 諸事情により3年未満で退任された場合は、年数に応じて3,000円/年を支給する。

議・第7号 第5期事業年度（平成31年度）役員報酬額についての報告

役員（理事・監事・副部長）報酬は、総額30万円以内とし、議・第4号の前組合長特別功労者顕彰ならびに議・第5号の理事退任者への慰労金を含める。

議・第8号 組合脱退者についての報告

本人からの申出により、農事組合法人竹町農業生産組合定款第13条(脱退)および第15条(持分の払戻し)に基づき、船橋道雄氏の脱退を了解し、出資金を返却する。

付表1 農作業標準労賃・農機具使用料金表（改定）

農事組合法人竹町農業生産組合

平成28年1月24日総会議決

	作業内容	単位	作業料金	内 訳	
				労賃	農機具使用料
水 稲	耕起 平耕	10 a	2,500円	1,000円	1,500円
	耕起 畦立	10 a	2,500円	1,000円	1,500円
	中割り 砕土	10 a	2,500円	1,000円	1,500円
	代かき	10 a	2,500円	1,000円	1,500円
	田植 施肥等含む	10 a	3,500円	1,000円	2,500円
	施肥 追肥	10 a	700円	500円	200円
	溝きり	10 a	700円	500円	200円
	施肥 穂肥①	10 a	700円	500円	200円
	施肥 穂肥②	10 a	700円	500円	200円
	防除 農薬散布	10 a	700円	500円	200円
	収穫	10 a	9,500円	3,000円	6,500円
	運搬	10 a	1,500円	1,000円	500円
	乾燥	10 a	4,500円	500円	4,000円
	籾摺り	10 a	4,000円	2,000円	2,000円
	水管理 畦畔管理	10 a	3,000円	2,000円	1,000円
	合 計	10 a	39,500円	16,000円	23,500円
小 麦	土改散布	10 a	500円	300円	200円
	耕起 平耕	10 a	3,000円	1,000円	2,000円
	施肥 播種	10 a	2,000円	1,000円	1,000円
	溝きり	10 a	500円	300円	200円
	除草剤散布	10 a	500円	300円	200円
	施肥 追肥	10 a	500円	300円	200円
	施肥 穂肥	10 a	500円	300円	200円
	防除 農薬散布	10 a	500円	300円	200円
	収穫	10 a	7,000円	2,000円	5,000円
	運搬	10 a	1,600円	800円	800円
	平耕	10 a	2,500円	1,000円	1,500円
	畦畔管理	10 a	1,500円	1,000円	500円
	合 計	10 a	20,600円	8,600円	12,000円

- 摘要 1. 農機具の燃料は受託者負担。各資材は委託者負担とする。
 2. 農機具のみの貸借による燃料は利用者負担とする。
 3. 土地面積は、農業共済引受面積とする。
 4. この標準料金表を参考に耕作田の状況や作業の難易度ならびに一括受託作業別受託、農機具のみの利用などを考慮し、両者で充分話し合っ決定してください。個人所有、組合所有共通です。

改定の要点

1. 労賃は、水稻 16 時間/10a 小麦 8.5 時間/10a とした。
2. 小麦は 5~6 時間程度に下げたいが個人委託では困難、今後検討
3. 農機具使用料は、1 万円程度にしたいが困難。今後検討。
4. 農地小作料 水稻 10,000 円/10a 小麦 6,000 円/10a 大豆 4,000 円/10a
 水利費（耕作者負担） 水稻 4,800 円/10a 小麦 4,800 円/10a
5. 育苗費は硬化苗で労賃 9,000 円/10a、農機具使用料 1,000 円/10a、発芽苗は労賃 5,000 円/10a、農機具使用料なしとする。

付表2 小麦 平成31年度栽培管理作業委託先 農) 竹町農業生産組合 NO. 1

小字	地番	竹町基本面積		所有者	機構 借地	法人 管理	管理 委託面積	管理作業 委託先
		基本台帳	共済面積					
		m ²	a					
下荒木	970-2	63	0.6	川橋俊雄	○	○	161.4	荒川雅男
下荒木	970-1	2,137	21.2	川橋俊雄	○	○		
下荒木	971	851	8.4	荒川好一		○		
女夫輪	987	1,225	12.1	大森六朗		○		
上荒木	947	1,440	14.3	小川康子		○		
上荒木	946	1,576	15.6	大森六朗		○		
下荒木	972	2,805	27.9	高岡久美子		○		
女夫輪	991	3,080	30.6	高岡久美子		○		
女夫輪	988	3,089	30.7	荒川好一		○		
下荒木	967	2,128	21.1	富田甚弘	○	○	168.6	仲川國男
女夫輪	990	3,109	30.9	富田甚弘	○	○		
上荒木	942	1,018	10.1	仲川國男		○		
畑中	738-1	1,341	13.3	富田正己		○		
上荒木	941	1,577	15.6	富田正己		○		
上荒木	938	2,319	23.0	船橋清一		○		
下荒木	963	2,521	25.0	船橋清一		○		
下荒木	962	2,975	29.6	富田甚弘		○	48.5	奥田徹
下荒木	968	1,980	19.7	奥田徹	○	○		
畑中	736-1	2,904	28.8	奥田徹	○	○	23.6	荒川正晴
下荒木	958	2,374	23.6	荒川正晴		○		
上荒木	951	1,190	11.8	小川稔雄	△	○	105.1	小川稔雄
女夫輪	995	1,591	15.8	船橋いよ	△	○		
中音城寺	693	1,940	19.3	小西信弘	△	○		
上荒木	950	2,802	27.8	荒川徹和	△	○		
下荒木	960	3,065	30.4	仲川弥一郎	△	○		
女夫輪	983	3,229	32.1	川橋一明	○	○	32.1	川橋一明
丸田	930-2	234	2.3	川合良和	○	○	73.5	川合良和
下荒木	969	1,840	18.3	川合良和	○	○		
丸田	930-1	2,136	21.2	川合良和	○	○		
女夫輪	985	3,188	31.7	川合良和	○	○	73.5	船橋道雄
女夫輪	986	1,937	19.2	船橋覚太郎		○		
下荒木	964	2,415	24.0	船橋覚太郎		○		
上荒木	945	3,051	30.3	船橋覚太郎		○	103.4	仲川保雄
上荒木	937	876	8.7	仲川保雄	○	○		
草深	1012	1,643	16.3	奥正信	○	○		
草深	1011	1,938	19.2	奥正信	○	○		
上荒木	949	2,750	27.3	仲川保雄	○	○		
女夫輪	984	3,216	31.9	仲川保雄	○	○		
下荒木	973-1	2,351	23.3	北川誠次	○	○	23.3	北川誠次

小麦 NO.2

小字	地番	竹町基本面積		所有者	機構借	法人管	管理委託面積	管理作業委託先
下荒木	966	709	7.0	川橋幸己	○	○	327.5	船橋雄平班
上荒木	936	1,378	13.7	船橋清太郎	○	○		
中音城寺	690	1,474	14.6	仲川菊	○	○		
下荒木	965	1,545	15.3	仲川弥一郎	○	○		
上荒木	940	1,854	18.4	仲川弥一郎	○	○		
上荒木	943	2,254	22.4	船橋雄平	○	○		
中音城寺	691	2,303	22.9	仲川弥一郎	○	○		
上荒木	948	2,889	28.7	中川昭三	○	○		
下荒木	961	2,937	29.2	小川康子	○	○		
女夫輪	993	3,037	30.2	小川康子	○	○		
女夫輪	992	3,077	30.6	船橋正和	○	○		
女夫輪	982	3,100	30.8	仲川幹雄	○	○		
女夫輪	989	3,135	31.1	船橋雄平	○	○		
女夫輪	994	3,277	32.6	中江義雄	○	○		
小麦栽培管理委託面積 合計								

付表3 水稻 平成31年度栽培管理作業委託先 農)竹町農業生産組合 NO.1

小字	地番	竹町基本面積		所有者	機構借地	法人管理	管理委託面積	耕作者
		基本台帳	共済面積					
		m ²	a					
亀月	894	2,828	28.1	中江義雄	○	○	140.9	荒川雅男
丸田	926	2,098	20.8	船橋正和	○	○		
野瀬	1040	3,107	30.9	川橋俊雄	○	○		
野瀬	1041	3,121	31.0	小西信昭	○	○		
拘込	1071-2	1,092	10.8	川橋俊雄	○	○		
拘込	1073	288	2.8	仲川元治	○	○		
拘込	1074	1,667	16.5	仲川幹雄	○	○		
丸田	928	1,018	10.1	川橋俊雄	○	○	74.2	仲川國男
拘込	1070	1,986	19.7	川橋俊雄	○	○		
西裏	1085	1,778	17.6	船橋清太郎	○	○		
西裏	1086	2,695	26.8	船橋清太郎	○	○		
草深	1023	3,221	32.0	奥田徹	○	○	132.5	奥田徹
草深	1024	3,197	31.8	奥田徹	○	○		
畑ヶ中	1051	1,241	12.3	奥田徹	○	○		
畑ヶ中	1054	3,235	32.1	奥田徹	○	○		
北裏	1059	1,533	15.2	奥田徹	○	○		
北裏	1060	922	9.1	富田甚弘	○	○		

水稻 NO.2

小字	地番	竹町基本面積		所有者	機構借	法人管	管理委託面積	耕作者
拘込	1077	2,048	20.3	川橋一明	○	○	20.3	川橋一明
草深	1017	3,301	32.8	川合良和	○	○	93.3	川合良和
草深	1025	3,171	31.5	川合良和	○	○		
北裏	1064	2,007	19.9	川合良和	○	○		
前くぼ	1108	919	9.1	川合良和	○	○		
亀月	904	2,266	22.5	仲川保雄	○	○	69.7	仲川保雄
草深	1013	3,361	33.4	仲川保雄	○	○		
古川尻	1120	1,394	13.8	仲川保雄	○	○		
社裏	909	1,378	13.7	川橋好栄	○	○	121.8	北川佐一
日向	919	1,048	10.4	北川佐一	○	○		
野瀬	1046	3,047	30.3	北川佐一	○	○		
北裏	1062	512	5.0	小川善次	○	○		
西裏	1087	2,929	29.1	北川佐一	○	○		
砂原	1099	941	9.3	小川善次	○	○		
前くぼ	1107	2,479	24.0	北川佐一	○	○		
宮前	882	415	4.1	川橋幸己	○	○	579.4	船橋雄平班 (次頁続く)
宮前	883	796	7.9	万里川平	○	○		
宮前	884	419	4.1	船橋しづ子	○	○		
大鹿	995	1,318	13.1	万里川平	○	○		
新替町	1525	1,130	11.2	川橋俊雄	○	○		
新替町	1526	177	1.7	川橋俊雄	○	○		
新替町	1528	1,001	9.9	川橋俊雄	○	○		
新替町	1529	1,174	11.6	川橋幸己	○	○		
新替町	1530	3,446	34.2	川橋幸己	○	○		
白地地域	352	373	3.7	船橋雄平	○	○		
亀月	896	1,158	11.5	船橋雄平	○	○		
亀月	897	2,017	20.0	中川昭三	○	○		
亀月	898	3,224	32.0	船橋正和	○	○		
亀月	899	3,230	32.1	富田甚弘	○	○		
亀月	900	3,235	32.1	船橋雄平	○	○		
亀月	901	1,025	10.1	船橋雄平	○	○		
社裏	911-1	2,141	21.3	北川仙二	○	○		
社裏	911-3	55	0.5	北川仙二	○	○		
丸田	925	956	9.5	船橋清太郎	○	○		
草深	1020	3,206	31.8	東純市	○	○		
草深	1021	1,717	17.0	仲川菊	○	○		
草深	1022	1,377	13.7	仲川幸男	○	○		
草深	1026	920	9.1	船橋しづ子	○	○		
草深	1027	1,914	19.0	荒川敏和	○	○		

水稻 NO.3

		竹町基本面積	所有者	機構	法人	管理	耕作者
--	--	--------	-----	----	----	----	-----

小字	地番						委託面積	
野瀬	1038	2,030	20.1	船橋康秀	○	○	579.4	船橋雄平班 (前頁より)
畑ヶ中	1055	2,950	29.3	万里川平	○	○		
北裏	1065	1,855	18.4	川橋幸己	○	○		
拘込	1075	472	4.6	東純市	○	○		
拘込	1076	1,623	16.1	北川佐一	○	○		
西裏	1084	922	9.1	東純市	○	○		
砂原	1095	2,264	22.5	万里川平	○	○		
砂原	1096	579	5.7	万里川平	○	○		
前くぼ	1106	2,573	25.6	中川昭三	○	○		
古川尻	1118	1,469	14.6	小西信昭	○	○		
古川尻	1119	868	8.6	万里川平	○	○		
古川尻	1123	2,250	22.3	船橋康秀	○	○		
御屋敷	1146	2,150	21.3	仲川幸男	○	○		
水稻栽培管理委託面積 合計 (a)							1,232	

付表4 農地中間管理機構からの借受全圃場と管理作業委託先

	管理作業委託先	台帳面積	共済面積	水稻	小麦	合計
1	荒川雅男	16,401	162.7	140.9	21.8	162.7
2	奥田 徹	18,233	181.0	132.5	48.5	181.0
3	仲川國男	12,714	126.2	74.2	52.0	126.2
4	北川誠次	2,351	23.3	0.0	23.3	23.3
5	川合良和	16,796	166.8	93.3	73.5	166.8
6	仲川保雄	17,444	173.1	69.7	103.4	173.1
7	川橋一明	5,277	52.4	20.3	32.1	52.4
8	船橋雄平班	91,398	906.9	579.4	327.5	906.9
9	北川佐一	12,334	121.8	121.8	0.0	121.8
	合計	192,948	1914.2	1232.1	682.1	1914.2

※これ以外に野菜栽培用途で13aの借受地あり(総借受面積は1927.2a)

付表5 部外秘取扱注意 平成31年度竹町水田作付基本台帳 平成31年1月1日 No.1

※機構借地 ○:法人 △:認定

小字	地番	台帳面積 m ²	共済面積 a	耕作者	所有者	機構借地	法人管理	平成31年度栽培面積 (a)			
								稲作	麦作	大豆	ソバ
中音城寺	690	1,474	14.6	船橋雄平班	仲川菊	○	○		14.6		14.6
中音城寺	691	2,303	22.9	船橋雄平班	仲川弥一郎	○	○		22.9		22.9
中音城寺	693	1,940	19.3	小川稔雄	小西信弘	△	○		19.3		19.3
畑中	736-1	2,904	28.8	奥田徹	奥田徹	○	○		28.8		
畑中	738-1	1,341	13.3	仲川國男	富田正己		○		13.3		
宮前	882	415	4.1	船橋雄平班	川橋幸己	○	○	4.1			
宮前	883	796	7.9	船橋雄平班	万里川平	○	○	7.9			
宮前	884	419	4.1	船橋雄平班	船橋しづ子	○	○	4.1			
宮前	885	380	3.7	仲川國男	富田正己			3.7			
宮前	886	1,962	19.5	小川稔雄	船橋いよ	△		19.5			
押見	984	2,901	28.8	小川稔雄	中路亀之助	△		28.8			
大鹿	995	1,318	13.1	船橋雄平班	万里川平	○	○	13.1			
大鹿	996	1,051	10.4	荒川雅男	荒川敏和			10.4			
大鹿	997	1,412	14.0	荒川雅男	荒川好一			14.0			
大鹿	998	1,710	17.0	小川稔雄	北川誠次	△		17.0			
大鹿	999	1,609	16.0	小川稔雄	川橋好栄	△		16.0			
新替町	1523	2,289	22.7	船橋道雄	船橋覚太郎			22.7			
新替町	1524	1,131	11.2	荒川雅男	仲川元治			11.2			
新替町	1525	1,130	11.2	船橋雄平班	川橋俊雄	○	○	11.2			
新替町	1526	177	1.7	船橋雄平班	川橋俊雄	○	○	1.7			
新替町	1528	1,001	9.9	船橋雄平班	川橋俊雄	○	○	9.9			
新替町	1529	1,174	11.6	船橋雄平班	川橋幸己	○	○	11.6			
新替町	1530	3,446	34.2	船橋雄平班	川橋幸己	○	○	34.2			
白地地域	46-1	1,213	7.7	仲川國男	船橋紀雄			7.7			
白地地域	352	373	3.7	船橋雄平班	船橋雄平	○	○	3.7			
亀月	894	2,828	28.1	荒川雅男	中江義雄他	○	○	28.1			
亀月	895	2,676	26.6	仲川國男	仲川元治			26.6			
亀月	896	1,158	11.5	船橋雄平班	船橋雄平	○	○	11.5			
亀月	897	2,017	20.0	船橋雄平班	中川昭三	○	○	20.0			
亀月	898	3,224	32.0	船橋雄平班	船橋正和	○	○	32.0			
亀月	899	3,230	32.1	船橋雄平班	富田甚弘	○	○	32.1			
亀月	900	3,235	32.1	船橋雄平班	船橋雄平	○	○	32.1			
亀月	901	1,025	10.1	船橋雄平班	船橋雄平	○	○	10.1			
亀月	902	2,201	21.8	仲川國男	仲川弥一郎			21.8			
亀月	903	3,277	32.6	仲川國男	仲川弥一郎			32.6			
亀月	904	2,266	22.5	仲川保雄	仲川保雄	○	○	22.5			
社裏	909	1,378	13.7	北川佐一	川橋好栄	○	○	13.7			

No. 2

小字	地番	台帳面	共済面	耕作者	所有者	機構	法人	平成31年度栽培面積 (a)
----	----	-----	-----	-----	-----	----	----	----------------

		積 m ²	積 a			借地	管理	稲作	麦作	大豆	ソバ
社裏	910	1,614	16.0	仲川國男	富田正己			16.0			
社裏	911-1	2,141	21.3	船橋雄平班	北川仙二	○	○	21.3			
社裏	911-3	55	0.5	船橋雄平班	北川仙二	○	○	0.5			
日向	918	2,012	20.0	荒川正晴	荒川正晴			20.0			
日向	919	1,048	10.4	北川佐一	北川佐一	○	○	10.4			
日向	920	2,441	24.2	船橋道雄	船橋覚太郎			24.2			
丸田	925	956	9.5	船橋雄平班	船橋清太郎	○	○	9.5			
丸田	926	2,098	20.8	荒川雅男	船橋正和	○	○	20.8			
丸田	927	1,746	17.3	仲川國男	仲川國男			17.3			
丸田	928	1,018	10.1	仲川國男	川橋俊雄	○	○	10.1			
丸田	929	2,728	27.1	小川稔雄	小川稔雄	△		27.1			
丸田	930-1	2,136	21.2	川合良和	川合良和	○	○		21.2	21.2	
丸田	930-2	234	2.3	川合良和	川合良和	○	○		2.3	2.3	
上荒木	936	1,378	13.7	船橋雄平班	船橋清太郎	○	○		13.7	13.7	
上荒木	937	876	8.7	仲川保雄	仲川保雄	○	○		8.7	8.7	
上荒木	938	2,319	23.0	仲川國男	船橋清一		○		23.0	23.0	
上荒木	940	1,854	18.4	船橋雄平班	仲川弥一郎	○	○		18.4	18.4	
上荒木	941	1,577	15.6	仲川國男	富田正己		○		15.6	15.6	
上荒木	942	1,018	10.1	仲川國男	仲川國男		○		10.1	10.1	
上荒木	943	2,254	22.4	船橋雄平班	船橋雄平	○	○		22.4	22.4	
上荒木	945	3,051	30.3	船橋道雄	船橋覚太郎		○		30.3	30.3	
上荒木	946	1,576	15.6	荒川雅男	大森六朗		○		15.6	15.6	
上荒木	947	1,440	14.3	荒川雅男	小川康子		○		14.3	14.3	
上荒木	948	2,889	28.7	船橋雄平班	中川昭三	○	○		28.7	28.7	
上荒木	949	2,750	27.3	仲川保雄	仲川保雄	○	○		27.3	27.3	
上荒木	950	2,802	27.8	小川稔雄	荒川敏和	△	○		27.8		27.8
上荒木	951	1,190	11.8	小川稔雄	小川稔雄	△	○		11.8		11.8
下荒木	958	2,374	23.6	荒川正晴	荒川正晴		○		23.6	23.6	
下荒木	960	3,065	30.4	小川稔雄	仲川弥一郎	△	○		30.4	30.4	
下荒木	961	2,937	29.2	船橋雄平班	小川康子	○	○		29.2	29.2	
下荒木	962	2,975	29.6	仲川國男	富田甚弘		○		29.6	29.6	
下荒木	963	2,521	25.0	仲川國男	船橋清一		○		25.0	25.0	
下荒木	964	2,415	24.0	船橋道雄	船橋覚太郎		○		24.0	24.0	
下荒木	965	1,545	15.3	船橋雄平班	仲川弥一郎	○	○		15.3	15.3	
下荒木	966	709	7.0	船橋雄平班	川橋幸己	○	○		7.0	7.0	
下荒木	967	2,128	21.1	仲川國男	富田甚弘	○	○		21.1	21.1	
下荒木	968	1,980	19.7	奥田徹班	奥田徹	○	○		19.7	(19.7) キャベツ	
下荒木	969	1,840	18.3	川合良和	川合良和	○	○		18.3	18.3	
下荒木	970-1	2,137	21.2	荒川雅男	川橋俊雄	○	○		21.2	21.2	

小字	地番	台帳面積 m ²	共済面積 a	耕作者	所有者	機構借地	法人管理	平成31年度栽培面積 (a)				
								稲作	麦作	大豆	ソバ	
下荒木	970-2	63	0.6	荒川雅男	川橋俊雄	○	○		0.6	0.6		
下荒木	971	851	8.4	荒川雅男	荒川好一		○		8.4	8.4		
下荒木	972	2,805	27.9	荒川雅男	高岡久美子		○		27.9	27.9		
下荒木	973-1	2,351	23.3	北川誠次	北川誠次	○	○		23.3	23.3		
女夫輪	982	3,100	30.8	船橋雄平	仲川幹雄	○	○		30.8	30.8		
女夫輪	983	3,229	32.1	川橋一明	川橋一明	○	○		32.1	32.1		
女夫輪	984	3,216	31.9	仲川保雄	仲川保雄	○	○		31.9	31.9		
女夫輪	985	3,188	31.7	川合良和	川合良和	○	○		31.7	31.7		
女夫輪	986	1,937	19.2	船橋道雄	船橋覚太郎		○		19.2	19.2		
女夫輪	987	1,225	12.1	荒川雅男	大森六朗		○		12.1	12.1		
女夫輪	988	3,089	30.7	荒川雅男	荒川好一		○		30.7			30.7
女夫輪	989	3,135	31.1	船橋雄平班	船橋雄平	○	○		31.1			31.1
女夫輪	990	3,109	30.9	仲川國男	富田甚弘	○	○		30.9			30.9
女夫輪	991	3,080	30.6	荒川雅男	高岡久美子		○		30.6			30.6
女夫輪	992	3,077	30.6	船橋雄平班	船橋正和	○	○		30.6			30.6
女夫輪	993	3,037	30.2	船橋雄平班	小川康子	○	○		30.2			30.2
女夫輪	994	3,277	32.6	船橋雄平班	中江義雄他	○	○		32.6			32.6
女夫輪	995	1,591	15.8	小川稔雄	船橋いよ	△	○		15.8			15.8
草深	1011	1,938	19.2	仲川保雄	奥正信	○	○		19.2			19.2
草深	1012	1,643	16.3	仲川保雄	奥正信	○	○		16.3			16.3
草深	1013	3,361	33.4	仲川保雄	仲川保雄	○	○	33.4				
草深	1014	3,340	33.2	小川稔雄	北川誠次	△		33.2				
草深	1015	1,629	16.2	荒川雅男	仲川弥一郎			16.2				
草深	1016	1,700	16.9	小川稔雄	小川富造	△		16.9				
草深	1017	3,301	32.8	川合良和	川合良和	○	○	32.8				
草深	1018	3,233	32.1	荒川雅男	大森六朗			32.1				
草深	1020	3,206	31.8	船橋雄平班	東純市	○	○	31.8				
草深	1021	1,717	17.0	船橋雄平班	仲川菊	○	○	17.0				
草深	1022	1,377	13.7	船橋雄平班	仲川幸男	○	○	13.7				
草深	1023	3,221	32.0	奥田徹	奥田徹	○	○	32.0				
草深	1024	3,197	31.8	奥田徹	奥田徹	○	○	31.8				
草深	1025	3,171	31.5	川合良和	川合良和	○	○	31.5				
草深	1026	920	9.1	船橋雄平班	船橋しづ子	○	○	9.1				
草深	1027	1,914	19.0	船橋雄平班	荒川敏和	○	○	19.0				
野瀬	1038	2,030	20.1	船橋雄平班	船橋康秀	○	○	20.1				
野瀬	1040	3,107	30.9	荒川雅男	川橋俊雄	○	○	30.9				
野瀬	1041	3,121	31.0	荒川雅男	小西信昭	○	○	31.0				
野瀬	1042	3,113	30.9	小川稔雄	小川稔雄	△		30.9				
野瀬	1043	1,853	18.4	小川稔雄	富田甚弘	△		18.4				

No. 4

小字	地番	台帳	共済	耕作者	所有者	機構	平成31年度栽培面積 (a)
----	----	----	----	-----	-----	----	----------------

		面積 m ²	面積 a					稲作	麦作	大豆	ソバ
野瀬	1044	1,309	13.0	小川稔雄	小川富造	△		13.0			
野瀬	1045	3,141	31.2	小川稔雄	仲川幹雄	△		31.2			
野瀬	1046	3,047	30.3	北川佐一	北川佐一	○	○	30.3			
畑ケ中	1050	2,165	21.5	荒川雅男	高岡久美子			21.5			
畑ケ中	1051	1,241	12.3	奥田徹	奥田徹	○	○	12.3			
畑ケ中	1052	3,238	32.2	荒川雅男	仲川幸男			32.2			
畑ケ中	1053	3,237	32.2	荒川雅男	大森六朗			32.2			
畑ケ中	1054	3,235	32.1	奥田徹	奥田徹	○	○	32.1			
畑ケ中	1055	2,950	29.3	船橋雄平班	万里川平	○	○	29.3			
北裏	1059	1,533	15.2	川橋俊雄	奥田徹	○	○	15.2			
北裏	1060	922	9.1	川橋俊雄	富田甚弘	○	○	9.1			
北裏	1061	1,970	19.6	小川稔雄	高岡久美子	△		19.6			
北裏	1062	512	5.0	北川佐一	小川善次	○	○	5.0			
北裏	1063	2,240	22.2	荒川雅男	仲川菊			22.2			
北裏	1064	2,007	19.9	川合良和	川合良和	○	○	19.9			
北裏	1065	1,855	18.4	船橋雄平班	川橋幸己	○	○	18.4			
拘込	1070	1,986	19.7	仲川國男	川橋俊雄	○	○	19.7			
拘込	1071-1	1,307	13.0	川橋袖子	川橋俊雄	○	○				
拘込	1071-2	1,092	10.8	荒川雅男	川橋俊雄	○	○	10.8			
拘込	1073	288	2.8	荒川雅男	仲川元治	○	○	2.8			
拘込	1074	1,667	16.5	荒川雅男	仲川幹雄	○	○	16.5			
拘込	1075	472	4.6	船橋雄平班	東純市	○	○	4.6			
拘込	1076	1,623	16.1	船橋雄平班	北川佐一	○	○	16.1			
拘込	1077	2,048	20.3	川橋一明	川橋一明	○	○	20.3			
西裏	1084	922	9.1	船橋雄平班	東純市	○	○	9.1			
西裏	1085	1,778	17.6	仲川國男	船橋清太郎	○	○	17.6			
西裏	1086	2,695	26.8	仲川國男	船橋清太郎	○	○	26.8			
西裏	1087	2,929	29.1	北川佐一	北川佐一	○	○	29.1			
砂原	1095	2,264	22.5	船橋雄平班	万里川平	○	○	22.5			
砂原	1096	579	5.7	船橋雄平班	万里川平	○	○	5.7			
砂原	1097	1,698	16.8	小川稔雄	北川誠次	△		16.8			
砂原	1098	1,893	18.8	仲川國男	仲川國男			18.8			
砂原	1099	941	9.3	北川佐一	小川善次	○	○	9.3			
前くぼ	1103	1,466	14.5	荒川雅男	荒川好一			14.5			
前くぼ	1104	2,579	25.6	荒川雅男	仲川弥一郎			25.6			
前くぼ	1105	2,584	25.7	荒川雅男	仲川菊			25.7			
前くぼ	1106	2,573	25.6	船橋雄平班	中川昭三	○	○	25.6			
前くぼ	1107	2,479	24.0	北川佐一	北川佐一	○	○	24.0			
前くぼ	1108	919	9.1	川合良和	川合良和	○	○	9.1			

No. 5

小字	地番	台帳	共済	耕作者	所有者	機構	平成31年度栽培面積 (a)
----	----	----	----	-----	-----	----	----------------

		面積 m ²	面積 a					稲作	麦作	大豆	ソバ
前くぼ	1109-1	773	7.6	荒川正晴	荒川美智子			7.6			
前くぼ	1109-2	700	6.9	荒川正晴	荒川美智子			6.9			
古川尻	1118	1,469	14.6	船橋雄平班	小西信昭		○	14.6			
古川尻	1119	868	8.6	船橋雄平班	万里川平		○	8.6			
古川尻	1120	1,394	13.8	仲川保雄	仲川保雄		○	13.8			
古川尻	1121	947	9.4	荒川雅男	大森六朗			9.4			
古川尻	1122	2,335	23.2	仲川國男	船橋清一			23.2			
古川尻	1123	2,250	22.3	船橋雄平班	船橋康秀		○	22.3			
古川尻	1124	1,249	12.4	荒川雅男	荒川好一			12.4			
西畑	1131	1,004	9.9	荒川正晴	荒川正晴			9.9			
御屋敷	1146	2,150	21.3	船橋雄平班	仲川幸男		○	21.3			
クルス	1153	2,420	24.0	小川稔雄	小川康子		○	24.0			
クルス	1155	1,798	17.8	小川稔雄	小川康子		○	17.8			
作物別栽培面積 合計 (a)								2,101	1,141	714	364

※篠原商店管理分は除外

付表6 竹町全圃場の作物別・管理者別区分

	中間管理機構 からの借受農地	個人農地	合計
水 稲	1,232.1 a	868.8 a	2,100.9 a
小 麦	682.1 a	458.4 a	1,140.5 a
合 計	1,914.2 a	1,327.2 a	3,241.4 a
構成比	59. 1%	40. 9%	100. 0%

付表7 作物別管理区分

	法人管理	個人管理	総 計
水 稲	1,232.1 a	868.8 a	2,100.9 a
小 麦	1140.5 a	—	1143.0 a
大 豆	714.3 a	—	714.3 a
黒 豆		—	
ソ バ	364.4 a	—	364.4 a
野 菜	19.7 a	—	19.7 a
合 計	3,471.0 a	868.8 a	4,342.3 a
構成比	79. 9%	20. 1%	100. 0%

(参考様式1)

人・農地プラン

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月(1回目)	更新年月(2回目)	更新年月(3回目)
近江八幡市	竹町	2016(平成28)年9月	2017(平成29)年5月	2017(平成29)年12月	2018(平成30)年6月

1. 今後の地域の中心となる経営体(担い手)

属性	経営体(氏名)	経営者・代表者の年齢	構成員(従業員)	後継者の有無	現状 〔平成29年度〕		計画 〔平成32年度〕		農地中間管理機構からの借入希望の有無	新規就農・6次産業化・高付加価値化・低コスト化・法人化等の取組年度	活用が見込まれる施策				備考
					経営内容(作物)	経営規模(ha、頭数等)	経営内容(作物)	経営規模(ha、頭数等)			青年就農給付金(開始型)	スーパーステップ資金の活用	経営体育成支援事業	その他()	
法	農事組合法人竹町農業生産組合	74	39	有	水稲 小麦 大豆 そば	3.8 9.7 1.5 1.4 ha	水稲 小麦 大豆 そば 野菜	12.3 11.4 9.1 2.0 0.3 ha	有	30	○	○	○		
認農	小川裕雄	70	1名	有	水稲	4.3 ha	水稲	5.0 ha	有						

【 記載上の注意 】

- ※ 「今後の地域の中心となる経営体」には、規模拡大による経営の効率化、6次産業化による農産物の高付加価値化、経営の多角化・複合化など地域農業の発展を牽引する経営体や将来こうした役割を担うであろう新規就農者等を記載します。また、認定農業者、大規模経営体、農業法人及び広域で営農する農業者がいれば、それらの経営体の意向を確認したうえで、地域の中心となる経営体として位置づけられます。
- ※ 「属性」には、認定農業者は「認農」、法人は「法」、集落営農は「集」、認定新規就農者は「認就」と記載します。
- ※ 「経営体(氏名)」には、法人経営、集落営農など組織経営体の場合は、その組織経営体の名称を記載し、下段括弧書きで組織経営体の代表者名を記載します。
- ※ 集落営農の構成員である認定農業者については、その全ての認定農業者の「認農：氏名」を記載します。
- ※ 計画欄については、現状から概ね5年程度を記載する。(以下の計画欄についても同じ)
- ※ 「新規就農・6次産業化・・・等の取組」には、経営発展のために今後取り組もうとする内容に合致する取組を選択し記載します。
- ※ 「その他」には、6次産業化支援事業、強い農業づくり交付金(経営資源有効活用対策事業)、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金など、活用が見込まれる関連施策がある場合に記載します。
- ※ 「備考」には、活用する県単独事業などの施策の内容、経営発展に向けて取り組む内容で特筆すべき事項等があれば記載します。

2. 1から見た地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている/担い手はいるが十分ではない/担い手がいない

3. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応
担い手に集積・集約化する	○
担い手の分散縮圖を解消する	○
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	
耕作放棄地を解消する	
その他[右欄に自由に記載]	

4. 3についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
担い手の分散縮圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
その他[右欄に自由に記載]	

5. 近い将来農地の出し手となる者と農地

(四、都道府県に報告する場合は、農業者名を記載しますが、集落・地域で使用する場合は匿名とすることができます。)

近い将来農地の出し手となる農業者(氏名)	年齢	現状 〔平成〇〇年度〕		計画 〔平成〇〇年度〕		利用しなくなる農地面積	農地中間管理機構への貸付け希望の有無	農地面積	貸付時期
		経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)	経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)				
才			ha		ha	ha		ha	
才		別紙参照	ha		ha	ha		ha	
才			ha		ha	ha		ha	
才			ha		ha	ha		ha	
才			ha		ha	ha		ha	

※ 筆ごとの具体的な貸付等の計画がある場合は、「別紙：近い将来農地の出し手となる者の農地」に記載します。

6. 今後の地域農業のあり方

取組事項	対応	コメント
生産品の明確化	○	今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めて) ・平成27年7月に法人を決定したが、スタートしたばかりで、まだ安定感をもつまでには至っていない。 ・法人内に2名の認定農業者がおり、現段階での法人として利用権を有する圃場は少ないが、法人設立本来の趣旨である低コスト化に向けた利用権の集積を一日も早く進め、小麦と水稲だけでなく、大豆、野菜、花など、多角的な経営を進めたい。 ・10年後には、集落一圃場として全圃場の利用権を法人に移行する方向で努力する。
複合化		
6次産業化		
高付加価値化		
新規就農の促進		
その他 []		



農業経営改善計画認定書(変更)

農事組合法人 竹町農業生産組合 様

あなたから平成30年6月1日に認定申請(変更)の
あった農業経営改善計画は、農業経営基盤強化促進法
(昭和55年法律第65号)第13条第3項の規定により、
適当であると認定します。

近江八幡市長 小西 理



認定番号 : 27-344号

認定日 : 平成30年6月1日

認定の有効期間 : 平成32年10月21日まで

平成30年6月1日

近江八幡市長 様

申請者住所 近江八幡市竹町 322

氏名・名称 農事組合法人 竹町農業生産組合

代表理事 川橋 俊雄

1943年3月14日生（75歳）

（法人設立年月日：2015年7月1日）

（連絡先：0748-37-7364）



農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農 業 経 営 改 善 計 画					
①目標とする営農類型		小麦+大豆+水稻+野菜			
②経営改善の方向の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・これまで特団として小麦の受託栽培を行ってきた。 ・法人格の取得によって、地域農業の担い手を育成確保し、地域の農業経営の安定を図ることを目指し、大豆、水稻、野菜等を加え、農地の有効活用と所得向上を実現したい。 			
		年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標			
			現状	目標（H.32年）	
		年間農業所得	－千円	5,000千円	
	年間労働時間	－時間	3,000時間		
③農業経営の規模の拡大に関する目標	作目・部門名	現状		目標（H.32年）	
		作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量
	小麦	10.43ha	32,000 kg	11ha	35,000 kg
	水稻	0ha	0 kg	5ha	27,000 kg
	大豆	0ha	0 kg	(11ha)	16,000 kg
	野菜	0ha	0 kg	(検討)	
経営面積合計	10.43ha		16ha (27ha)		

③ 農業経営の規模の拡大に関する目標	区分	地目	所在地 (市町名)	現状	目標 (H. 32 年)		
	所有地	田	近江八幡市竹町と隣接地	0ha	0ha		
	借入地	田	近江八幡市竹町と隣接地	0ha	(検討)		
	特定作業受託	作目	作業	現状	目標 (H. 32 年)		
				作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
		小麦 水稲 大豆	全般	-ha	-kg	11ha 5ha 11ha	35000kg 27000kg 16000kg
	作業受託	作目	作業	現状	目標 (H. 32 年)		
		水稲	耕起・代かき 田植え 刈り取り・脱穀	-		5ha 5ha 5ha	
		単純計				15ha	
換算後				5ha			
農畜産物の加工・販売 その他の関連・附帯事業	事業名	内容	現状	目標 (年)			
④ 生産方式の合理化に関する目標	機械・施設	機械・施設名	型式、性能、規模等及びその台数				
			現状	目標 (H. 32 年)			
		別紙のとおり					
農用地の利用条件	現状	目標 (H. 32 年)					
	4a 足らず～30a 区画まで圃場が混在している。	畦畔ブロックを撤去し、可能な限り 100a 区画へ統一したい。					
作業・部門別	作目・部門別	現状	目標 (H. 32 年)				
	小麦	播種期に幅があるため、収穫時の品質が安定しない。	播種期を短くし、品質を安定させる。				
	水稲	各戸の予定で栽培。	栽培方法の統一と品種ごとの区域分け実施。				
	大豆・野菜		今後の検討課題				

	現状	目標 (H. 32 年)
⑤経営管理の合理化に関する目標	・ 単式簿記	・ 複式簿記による経営状態の把握。 青色申告の実施。
⑥農業従事の態様等の改善に関する目標	・ 農作業が個人の都合によって時期がずれる。	・ 作業時期の明確化。 ・ 労災保険加入 ・ 労働時間管理の徹底 ・ 研修会の実施
⑦目標を達成するためにとるべき措置	経営改善の目標	措置
	組合員の参加意識	組合員それぞれが責任感をもてるように、勉強会や部門別懇親会を開催し、参加意識を向上する。
	圃場の区画拡大 (生産方式の合理化)	冬期に畦畔ブロックを撤去して 100 a 区画の圃場を増やす。
	経営管理の合理化 農業従事態様等の改善	役員が率先して税務および経営講座等に参加して複式簿記を習得する。 ・ 労災保険加入 ・ 労働時間管理の徹底 ・ 研修会の実施

	氏名 (法人経営にあつては役員 の氏名)	年齢	代表者との続柄 (法人経営にあつては役職)	現状		見通し	
				担当業務	年間農業 従事日数 (日)	担当業務	年間農業 従事日数 (日)
(参考) 経営の 構成	川橋俊雄	72	代表理事 組合長			統括	80
	北川誠次	65	理事 副組合長			総務 会計	60
	仲川國男	66	理事 営農部長			営農	80
	川合良和	59	理事 管理部長			設備管理	80
	川橋幸己	61	理事 転作部長			転作	80
雇 用 者	常時雇 (年間)		実人数	現状	0人	見通し	0人
	臨時雇 (年間)		実人数	現状	0人	見通し	18人
			延べ人数	現状	0人	見通し	200人

(参考)	認定市町名	認定年月日	備 考
他市町の 認定状況			

	機 械 ・ 施 設 名	形式、性能、規模等及びその台数	
		現 状	目 標 (H. 32 年)
④ 生産方式の合理化	トラクター50ps		1台
	コンバイン	4条刈り (借用)	4条刈り (所有) 1台
	コンバイン	4条刈り (リース)	4条刈り (リース) 1台
	倉庫	1棟 (借用)	1棟 (借用)
	小麦・大豆用播種機		1台
	あぜ塗機		1台
	大型乗用管理機		1台

同 意 書

農業経営改善計画の認定に際し、認定農業者として支援を受けるため、私の情報を開示することに同意します。

1. 開示する情報の内容

認定農業者住所・氏名・年齢
経営改善計画の有効期限
経営改善計画の概要

2. 情報を開示する機関

支援措置を実施する関係機関及び団体
(近畿農政局滋賀農政事務所・滋賀県・担い手育成総合支援協議会・農業協同組合・農業委員会・農林漁業金融公庫・独立行政法人農業者年金基金等)

平成30年 6月 1日

(認定農業者)

住所 近江八幡市 竹町322

氏名 農事組合法人竹町農業生産組合
代表理事 川橋俊雄



平成30年産の市町村別等の基準単収は、以下のとおりとなっていますので、お知らせします。

畑作物の直接支払交付金における市町村別等の基準単収

(単位:kg/10a)

No.	市町村名	小麦	二条大麦	六条大麦	はだか麦	大豆	そば	なたね
1	大津市	246		206		88	44	
2	彦根市	314			289	150		
3	長浜市	242		329		148	40	
4	近江八幡市	274	309	354		162	49	86
5	草津市	246				179		
6	守山市	339				183	33	101
7	粟東市	247				188	37	
8	甲賀市	163				96	15	
9	野洲市	322				177	26	
10	湖南市	229		249		131	33	
11	高島市	259		308	157	81	55	120
12	東近江市	259		390		148	82	91
13	米原市	216		252		129	47	
14	日野町	183				110		
15	竜王町	236		250		147	55	92
16	愛荘町	244				116	38	
17	豊郷町	269				135		
18	甲良町	286				162		
19	多賀町	261				147	66	
上記以外の市町村の基準単収		259	308	290	283	151	53	99

(注) 「上記以外の市町村の基準単収」は、対象農産物の欄に基準単収の記載がない場合の基準単収である。

30年産の面積払は、当年産の「実際の作付面積」(地域協議会が作付確認した面積)に基づき、対象畑作物の作付確認終了後に交付金を交付します。

◆今回の交付金は、大豆、そばについて交付しています。

※作付確認等におけるほ場の状況によっては、生産量の確定後(数量払の審査時)に交付の判断がされる場合があります。

【お問い合わせ先】

ご不明な点等がありましたら、下記までお問い合わせください。

近畿農政局滋賀県拠点

地方参事官室(経営所得担当)

電話077-522-4274 FAX077-526-3062



